

「もしも」のときに備えて防災準備！

災害に備え、いま一度家族や地域で確認を！

避難はみんなで冷静に！

避難時の服装



- ヘルメットや防災ズキンで頭を保護して
- 底が厚くはきなれた靴で、手には軍手などを着用して
- 長袖、長ズボンなど肌を出さない服装で
- 荷物は手に持たずリュックサックに入れて
- お年寄りや子どもの衣服には迷子札をつけて

※避難路、避難場所の確認を前もって行ない、避難するときは、近所の人とも一緒に秩序を守って、決められた場所へ避難しましょう。

非常持出品を常備しましょう



貴重品



応急医薬品



ラジオ



衣類



懐中電灯



非常食品・飲料水

※各家庭や事業所は、最低3日分の食料や水の準備を行ない、卓上コンロや固形燃料も用意しておきましょう。(1日1人当たり3リットルの水が目安です。)

NTT災害用伝言ダイヤルの利用方法

地震や洪水などの大災害発生時は、「災害用伝言ダイヤル」が開設されます。このサービスは大規模な災害が発生した場合、「声の伝言板」(安否確認)の役割をするNTTの電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間で、伝言の録音・再生をすることができます。携帯電話各社でも同様のサービスを行なっています。利用方法は、携帯電話各社にお問い合わせください。

「171」をダイヤルし、利用ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生をしてください。

伝言の録音方法

171

録音の場合 1

伝言の再生方法

171

録音の場合 2

被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

録音

再生

防災メモ

避難場所：

待合わせ場所：

非常持出品の保管場所：

家族の連絡先：

メモ(家族の血液型など)：